

三和新聞

平市大丁目三和新聞社発行 472
7月21日 (1カ月50円)
昭和29年6月17日第三種郵便物認可

人の往来

△赤石正氏(平岩第一課長)は定期休暇のため二十一日(伊藤秀吉氏(平岩助役)は二十一日職階退任水浴のため久の浜海岸へ)

総合開発協議

石城町村長協議会は二十三日午後二時から平岩事務所会議室で各町代表二十名が集り、開きこのほど各町地区が総合開発地域に指定されたので各町のタテ、ヨコの進捗をとり総合開発実現をめざす具体的方針について協議する

再會二十六年ぶり

うらぶれた旧主を養う

内郷市宮の報恩美談

町で石工をしていた岡山良平さん(年七十五)にやられたが二十六年ぶりに再會した。良平さんは、生家の双葉郡龍田村の農家に住み、昭和十一年ごろから龍田村を離れ、石工で生計を立ててきた。良平さんは、石工で生計を立ててきたが、右眼の病気で、石工ができなくなり、右眼を失明、石工もできなくなり、生活が苦しくなり、天の御子に助けを求め、龍田村の報恩を願って、龍田村に帰郷した。良平さんは、龍田村に帰郷してからは、龍田村の報恩を願って、龍田村に滞在している。良平さんは、龍田村の報恩を願って、龍田村に滞在している。

信弘君の兄は行方不明

田人殺人、捜査行悩む

捜査本部は殺された「ササキ信弘君」の遺子にやられた跡の指紋を返して「ササキ信弘君」の指紋と一致した。信弘君の兄は行方不明。田人殺人、捜査行悩む。信弘君の兄は行方不明。田人殺人、捜査行悩む。

血染の手ぬぐい

田人村の母子殺し、捜査本部は二十日に引渡された「ササキ信弘君」の指紋と一致した。血染の手ぬぐい。田人村の母子殺し、捜査本部は二十日に引渡された「ササキ信弘君」の指紋と一致した。

平市役所職に荒さる

報告聞いて伊藤助役は海水浴へ

無責任と吏員ら怒る

二十日午後八時、平市役所職に荒さる。報告聞いて伊藤助役は海水浴へ。無責任と吏員ら怒る。二十日午後八時、平市役所職に荒さる。報告聞いて伊藤助役は海水浴へ。無責任と吏員ら怒る。

税率めぐり議場混乱

常磐市會期延長

常磐市の臨時市会は二十日午後一時から議事堂で開かれ、税率の引き上げをめぐり議場が混乱した。常磐市會期延長。常磐市の臨時市会は二十日午後一時から議事堂で開かれ、税率の引き上げをめぐり議場が混乱した。

縣下歌まつり

二十五日湯本公民館で

福島県歌人會主催の縣下歌まつりが二十五日湯本公民館で開かれ、約二百名の歌人が参加した。縣下歌まつり。福島県歌人會主催の縣下歌まつりが二十五日湯本公民館で開かれ、約二百名の歌人が参加した。

町内会で海水浴

二十日午後八時

町内会では二十日午後八時から海水浴会を開き、約五十名の町民が参加した。町内会で海水浴。二十日午後八時。町内会では二十日午後八時から海水浴会を開き、約五十名の町民が参加した。

首つり自殺

二十日午後

二十日午後、湯本公民館で首つり自殺の事件が発生した。首つり自殺。二十日午後。湯本公民館で首つり自殺の事件が発生した。

七夕写真コンテスト

二十日午後

七夕写真コンテストの応募が二十日午後締め切られた。七夕写真コンテスト。二十日午後。七夕写真コンテストの応募が二十日午後締め切られた。

二十三夜尊例祭を記念して
全商品一割引
サービス
特に夜間営業中は
特価品提供
平市平和通り 小松履物店
電 六七三

廿日(旧23日) 三夜市開催
君によく似た浴衣を着て、今日も来てみた。三夜市。浴衣を着て、今日も来てみた。三夜市。

郷土入り 時津山再び
平市道徳会主催の郷土入りは、八月五日(旧七夕)から八月二十五日まで、平岩事務所で行われ、約五十名の郷土者が参加した。郷土入り。時津山再び。平市道徳会主催の郷土入りは、八月五日(旧七夕)から八月二十五日まで、平岩事務所で行われ、約五十名の郷土者が参加した。

水爆販売 出店多数
現金チケット共お買上100円毎に サービス券1枚進呈

平指定商が皆様に贈る
値下断行 夏の大量出し
7月15日 期間中チケット 6カ月払い
7月31日
5枚 大型ライオン石けん
10枚 名入れ手拭 (特種品・特価品は) 御容赦願います
20枚 名入れ風呂敷
30枚 夕陽の休日 鑑賞他各館共通
50枚 玉の肌化粧石けん(半打)・箱入靴下
100枚 浴衣・反・開袴シャツ
200枚 ナショナル電気アイロン・牛皮カバン 1級酒1本・精工合庫時計
サービス券引換所各加盟店 (8月5日まで)

「サンジヨは小庭でも」という言葉で形容することは安当かどうかは二の次として五尺をこその小庭、と弁ななかも「正置もの、馬鹿をみない政治」を信条として代議士三期つとめ常任委員長に二回推薦されたことはやがて氏の真面目さと党内における位置が重視されていることがわかる



28 関内正一 代議士

市制施行とともに市議員となり二代目の市議員に推選された。時に三十六才の若さであったが、維新市会政治をたくみにあやつつて名議長として知られた。その間には平町消防団から団長と二十有余年消防の関内としての勇

代議士、縣知事ら招聘

廿一日で中小企業危機突破大会

不況の波を乗り切るには商工、農、漁業の各業者が、横の組織をきん密にして、あつた外には方法をないという見通しから平商工会館所が提唱した中小企業危機突破大会の第一回実行委員会は十九日午後三時から平商工会館所会議室で開き協議した結果正式名称を「常磐地方危機突破中小企業大会

無タンボで最高額廿万

大谷氏が平安信用組合理事長

中小企業者の労働組織として金融難を打開しようという目的で組織された平安信用組合の設立総会は、廿日午後二時から平市公会堂日本間で開き、理事長大谷次郎専務理事水山直樹、常務理事大平三郎、理事猪狩四郎ら十二名、監事安島久三三名の役員を選任し、



ニヤモノは、土用だというのにエカタじや寒いという馬鹿騒ぎだ、何でも水鏡の影響だという話したが、くわしいことはわからない、冷たい夏にタマゲていたら今度は二十田硬貨の横行をきた、いやはや全くホヤホヤにさらされたい、ニヤ

その後二十七年十月の選挙には次点で落選のうき目にあつたが、有名な吉田首相のバカヤロウ解散後の二十八年四月の選挙で当選、運輸大臣に推選された。この間に反対からは「仕事をしない代議士」と罵詈雑言されたが、黙々と一歩一歩地味に進んで来た誠実な人である、自由党支部長時代に大行民選知事を果たさせた氏は学生時代に柔道を練習し初段の腕前だが現在は三段に推選されている、趣味は政治以外には酒を飲むことくらいだ、酒豪である故に無軌道ぶりを発揮したこともあるが、頼まれればイヤとはいへぬ性分、選挙民から親しまれ「二田の先生」のニックネームで呼ばれる人柄には奥床かしがある五十七才

後初の総選挙には次点で惜敗したが二十八年四月には第三区最高票で当選、国会議員としての第一歩を印し、二十九年一月に再選、常任委員長に推選され二十六年八月には渡水議員団長と政友系を代表し参加、二十一年

常盤コーラス会

常磐市青文協運営委員会は、廿一日午後六時から同市民館で、二十二年後から同市民館で、ある者は五十一万円まで、無タンボは二十万円することをきめた

一般に皇居解放

皇居解放は、いまでは公職関係者と戦役者の遺族に限られていたが六月十五日からその制限が解かれた、二十日石城町村会事務局長に入して皇居村会事務局長に申し込んだことと押解の事務手

湯量を七十立方尺に

湯本温泉湯場問題に活路をまき起し湯本の温泉問題は、五立方尺で放出している湯量を七十立方尺に上げる、廿九年をむかえ依然湯量不足をみせ、今更なる湯量を確保する、人件費などの五百円を財源で負担、成した引湯場のポイントに、こきつたので、一分間五十

草野心平氏ら来平

二十「阿武隈の雲」出版記念会に、三野渥浦「阿武隈の雲」出版氏が来平する、本報講演会終了後、記念講演会は廿五日午後二時から、四時半から同所で座談会、六時半平市公会堂日本間で開かれるが、からルトモホールで祝賀会を行

書籍と文房具 ヤマニ書房 平野心平 中々

ミッドナイト ミッドナイト ミッドナイト

ダイアロヒ 金すまりだもの

殺し奇 丑の日

天地堂 開花亭

タクシーは三井 電話 685

キヤブテン★シヤツ 2丁目★ヤマカ洋品店

カヤのいらない 販売元 株式会社 中村滝商店 製造元 常磐製薬株式会社

平は東京堂 平サイツチ小路 電話一〇〇八

味のなる 湯本温泉

葉がハ草 銘 葉がハ草 井 平市一丁目 金沢屋 電話327

常磐湯本 温泉旅館 新ふじ TEL 常磐 37